



港南防災ネットワーク便り

2019年11月号

❶ 港区総合防災訓練 2019（港南会場） - 参加者数 2,748人 -

澄み切った秋晴れの下、地域より多くの皆さまにご参加いただき、今年度も総合防災訓練を開催することができました。ありがとうございました。

地震だけでなく、大雨や台風も深刻な被害をもたらすということを、私たちは先日、実感いたしました。

避難所の設営と運営をいかに円滑にすすめるか、防災ネットワークは今後も引き続き皆様のご協力を得ながら、更に努力してまいります。

ご協力いただきました機関や関係団体の皆様、本当にありがとうございました。

港南防災ネットワーク会長 飯塚 則男





主役は中学生 !?
でも**本当の主役**は一般参加の
あなたです!



・ 総合防災訓練を終えて <反省会より>

2019年度の港区港南地域の総合防災訓練は、晴天の中、総参加者2,748人参加で無事終了いたしました。

港南防災ネットワークでは、例年、訓練終了後に、ご協力いただいた運営委員・協力団体の皆さんと反省会を開催し、ご意見・ご感想・ご提案をいただきました(47人)。各パートの担当者ごとに、改善点、良かった点等もあげていただきました。ご協力いただいた皆さまには心より御礼申し上げます。今後、参考にさせていただき、次年度にいかしてまいりたいと思います。

なお、反省会議事録は「港南防災ネットワーク ホームページ」でご覧いただけます。

多くの皆さまにご参加いただけている総合防災訓練ではございますが、一方で近年の訓練は「訓練のための訓練」になってきているのではないかと危惧するところもあります。訓練を行うにあたり、中学生や運営委員の皆さんのスキルは年々向上していると思いますが、あくまで実働面でのスキルが大切です。紙面上にも記載しましたが、総合防災訓練はご参加いただく皆さんが、防災減災をどれだけリアルに受け止めていただけるかだと思います。

本会では反省会のご意見を踏まえ、いざという時の災害に、あらためて備えていこうと思いを強くいたしました。



災害に備える

❗大地震が起きたら「避難所」と思っていないませんか？ 港南地区は在宅避難が原則です！

(写真は港区HPより引用)

避難所の受け入れ人数には限界があります。

自宅が居住可能であれば、避難所に行かずに慣れ親しんだ自宅で生活をする「在宅避難」が原則です。

※「在宅避難」でも、マンションの代表者が定期的に避難所に行って情報や物資を受け取ることはできます。平時から地域との関わりを持ち、いざという時は協力しましょう。

- ・避難所は、自宅に住めなくなった人のための一時的な生活場所です。
- ・避難所は、1人約1畳程度のスペースしか確保できず、プライバシーの確保が難しいほか、衛生面の問題などもあります。

＜過去のマンション被害の状況＞



過去のマンション被害の状況
建物の損壊
新耐震基準でも外壁のヒビや、
受水槽からの漏水等の被害がみられました。



ごみの散乱
多くの災害ごみが発生しましたが、
ごみの収集再開に時間がかかりました。



▲避難所の様子

出典：震災伝承館(国土交通省東北地方整備局)



トイレの水を流せない
断水の長期化等で自宅トイレが使えず、
仮設トイレ等に長い行列ができました。



1階ロビーで寝泊り
不安で高層階の自宅に戻れない人が
みられました。
避難所も人がいっぱいに入れませんでした。

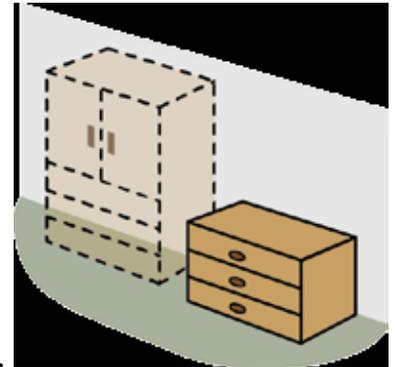
❶ 大震災への事前準備できていますか！

①住まいの安全対策をしてください。

大地震発生後の心得、知っていますか？

【家具の数を減らす、背の低い家具にする、配置を工夫する】
家具が転倒すると、ケガをするほか、室内が散乱して生活を続けられなくなります。

家具の数を減らしたり、背の低い家具にしたりすることが難しい場合は、家具転倒防止器具を取付けましょう。港区は、家具転倒防止器具等の助成及び、高齢者・障害者・妊産婦・ひとり親世帯への取付支援を行っていますので活用しましょう。



②水・食料・携帯トイレを7日以上備蓄してください。

【常温で日持ちのする食料などを多めに買う】

食料、水はあっという間になくなります。また、しばらくトイレの水を流せなくなる可能性が高いため、携帯トイレがないと自宅での生活が難しくなります。

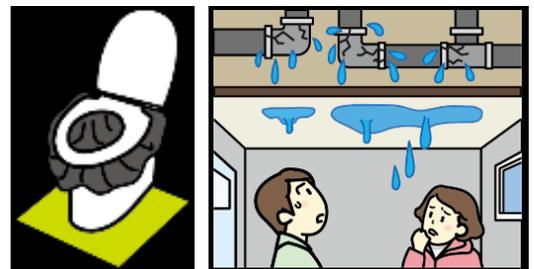
避難所は、自宅が倒れるなどして住めなくなってしまった人で大変混雑する可能性があります。建物に大きな被害がなく自宅で生活できる人は、可能な限り避難所には行かず自宅で生活することが重要です。自分の家庭に合った備蓄を、しっかり用意しておきましょう。



❷ 大地震発生後の心得、知っていますか？

①大地震発生時には、水を流さないでください。

地震により、マンション内の排水管が壊れている可能性があります。もし、壊れているのにトイレや台所などから水を流すと、低層階で水が漏れ、大きな迷惑になる可能性があります。排水管が壊れていないことが確認できるまで、水を流すのはやめましょう。



②避難する際、連絡先を管理者等に伝えてください。

近所の人などが心配したり、緊急修理の実施に支障をきたす可能性があります。避難などのため長期間留守にする場合は、ブレーカーを落とし、ガス、水道の元栓を閉めたうえで、連絡先を管理組合、管理員などに伝えましょう。

記事編集 発行
港南防災ネットワーク
会長 飯塚 則男